

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和4年度 第10号 R4.9.15(木)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「Good job カード」

「学校生活の中で素敵な行動をしている人に『Good Job カード』を渡そう」という取り組みが始まっています。私も既に4名の生徒に渡しました。素敵な行動を発見するためには生徒の近くにいなければなりません。そして色々な人と話して情報を集めなければなりません。さらに、「すごいな」「素敵だな」「頑張ってるな」「ありがたいな」等の心の動きに敏感にならなければなりません。教職員のそんな風に生徒を見る目や、気持ちがとてもいいなと思います。教職員が雑談で生徒や先生の良い面を報告し合っている姿も素敵です。色々なところに「優しさのあふれる人」がいる三中に、ほのぼのとした温かさを感じる日々です。

「三中スタンダード 凡事徹底」

教室や廊下に三中スタンダードとして教室の環境を「整える」6つの目標が書かれています。

- ①一分前着席
- ②授業前準備
- ③机・ロッカーの整理
- ④机を並べる
- ⑤教室のごみを拾う
- ⑥水筒置き場の利用

生徒たちは気持ちが緩みそうになると、意識してこれに取り組んでいます。当たり前と思う人もいるのですが、これらには人の生き方として大事な教えが秘められています。何でもない当たり前のことをしっかりやりきることが大事なのです。米野球シアトルマリナーズの球団殿堂入りしたイチロー選手も、小さなことの積み重ねが大切であると多くの場面で語っています。是非みんなで「凡事徹底」を心がけていきましょう。

「もったいない」

昨年度の中3のチャレンジテストの結果で、「平日のスマホ使用 3 時間以上」が62.9%で府平均を 17.2%も上回っており、大変ショックを受けました。今年度は全国学力・学習状況調査の中に同様の質問項目があり、本校の3年生のうち「1日3時間以上スマホで SNS や動画視聴している」生徒は 47%、(府 36.9%、全国 29.5%)です。また、「3 時間以上ゲームを行っている」生徒は 41.8%(府 37.7% 全国 29.8%)でした。厚労省の調査では SNS は女子、ゲームは男子に多い傾向があり、どちらもデバイスはスマホが最も多いそうです。昨年度より改善しているとは言え、SNS かゲームのどちらかを行っているとすれば90%ぐらいの生徒が3時間以上をこれに費やしているということになるし、同じ生徒が両方行っているのなら、一人で6時間以上も費やしていることになります。これでは家にいるほとんどの時間を取られてしまうのではないのでしょうか。本校の「平日家庭で学習を全くしない」という生徒は全体の 14.8%(全国 4.9%)「読書を全くしない」のは 53.6%(全国 39%)です。もしかして、学びの時間が削られているのでは?これはもったいないと思います。

先日ネット依存に関する研修を受けました。ゲーム依存はゲーム行動症といわれ、病気として治療の対象となります。中高生のネット依存は2012年に7.9%だったのが2017年には14.2%と倍近くに増えており、心・身体・人間関係に支障を来します。また、ゲームを始めた時期が早いほど依存になりやすいというデータもあり、依存状態になると、親は必死になってやめさせようとするため親子間トラブルが増えるのですが、一度依存状態になった場合、周りの声は聞こえなくなります。最終的に本人が「やめる気持ち」にならなければやめないの、周りは本人が「このままでは自分が損をするからやめたい」と思うような「動機づけ」をしていくことが大事なのだそうです。将来を見据えて今がチャンスではないでしょうか。